

# 区政 Now! (27年4月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

区政



新しい年度が始まりました。就職や進学等で新しい生活をスタートされる方は、期待に胸をふくらませておられることと思います。

この度、荒川区の永久水利施設に関する取組が、国連防災世界会議の席上で、「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」の最優秀レジリエンス賞を受賞しました。これは、これまでの区の先進的な防災・減災対策の取組が高く評価されたものと自負しております。

また、図書館、吉村昭記念文学館、子ども施設が一体となった複合施設「ゆいの森あらかわ」の平成29年春の開館に向けた建設工事がスタートする一方、「奥の細道千住あらかわサミット」では「俳句のまち あらかわ」の宣言を行う等、文化振興にも積極的に取り組んでおります。

今年度も、様々な分野で積極的な取組を進めてまいりますので、皆さまの御理解・御協力をお願いいたします。

## ● 「奥の細道千住あらかわサミット」を開催し、「俳句のまち あらかわ」を宣言しました

◇ 3月14日、奥の細道矢立初めの地である荒川区において、「奥の細道 千住あらかわサミット～いま発たん 矢立初めの地あらかわ～」が開催されました。奥の細道ゆかりの自治体や関係団体が一堂に会し、芭蕉の業績を顕彰するとともに、相互連携・交流の機会を持ちました。



「奥の細道千住あらかわサミット」の様子

◇ サミット当日は、俳人であり学校法人根津育英会武蔵学園・学園長である有馬朗人氏を講師としてお招きした記念講演会や、小学生による奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会千秋楽などの記念イベントを行い、多くの方々に俳句の楽しさに触れていただきました。

◇ また、松尾芭蕉、小林一茶、正岡子規等が訪れ、俳句を詠んだ地である荒川区において、更に俳句文化を振興し、荒川区が「俳句のまち」であることを区内外へ強く発信しながら、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな俳句の心を育むため、「荒川区俳句のまち宣言」を行いました。

◇ 区では「千住まちあるきツアー」や「芭蕉の大橋渡り」「奥の細道・旅立ち展」など、様々な記念事業を行い、3月には南千住駅西口駅前には松尾芭蕉像を建立しました。世界に誇る日本文化である俳句を、奥の細道ゆかりの地として、荒川区の魅力と共ますます振興を図ってまいります。



南千住駅前ロータリー  
「松尾芭蕉像」

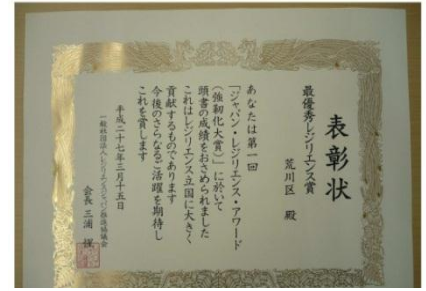


西川区長による  
「荒川区俳句のまち宣言」の様子

主な事業

## ● ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）において最優秀レジリエンス賞を受賞しました

◇ 区では、「災害で一人の犠牲者も出さない安全・安心のまちづくり」を実現するため、震災によって消火栓が断水した場合でも消火活動が行えるよう、隅田川の河川水等を防火水槽に貯めて消火に使用する永久水利施設の整備を進めています。



最優秀レジリエンス賞表彰状

◇ この度、この永久水利施設に関する取組が、全国各地で展開されている国づくりの強靱化（レジリエンス）に関する先進的な活動を発掘、評価し、表彰する「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」において、応募総数208団体の中から最優秀レジリエンス賞を受賞いたしました。

◇ 平成27年度は、日暮里地域及び南千住地域に永久水利施設の整備を予定しており、今後とも「安全・安心のまちづくり」に努めてまいります。

## ● （仮称）荒川二丁目複合施設の愛称が「ゆいの森あらかわ」に決定しました

◇ 区では、図書館、吉村昭記念文学館、子ども施設が一体となった、（仮称）荒川二丁目複合施設の整備を進めております。

◇ この度、この施設が区民の皆さまに末永く愛され、親しまれるものとなるよう、施設の愛称を募集し、応募作の中から選定委員会で選定した候補作品5点を対象に実施した区民投票の結果を踏まえ、愛称名が「ゆいの森あらかわ」に決定いたしました。



「ゆいの森あらかわ」の外観イメージ

◇ また、3月7日には、施設の開設イベントとして、開成中学・高校出身で、吉村昭氏の後輩にあたる直木賞作家・逢坂剛氏による講演会も開催しました。さらに同日、吉村昭氏にゆかりのある逢坂剛氏、瀬戸内寂聴氏、山崎一穎氏と荒川区長が発起人となって、「吉村昭記念文学館友の会」を設立いたしました。申込み方法等は、区報4月1日号や区ホームページに掲載しております。

◇ 今後、「ゆいの森あらかわ」が、人と人、本と人、文化と人が結びつき、楽しみ・学び・安らげる、豊かな森のような施設となるよう、整備を進めてまいります。

## ● コミュニティバス「さくら」の双方向運行、「汐入さくら」の中型車両運行を開始しました

◇ 3月29日からコミュニティバス「さくら」の右回りルートを拡充し、双方向運行を開始しました。これにより、南千住駅西口から荒川総合スポーツセンターや荒川区役所へのご利用が便利になり、町屋駅から南千住図書館（荒川ふるさと文化館）への利便性も向上しております。

◇ また、コミュニティバス「汐入さくら」の車両を小型から中型に変更し運行しています。これにより、より多くのお客様が同時にご乗車いただけるようになりました。

◇ 今後とも、区民の皆様の生活の利便性が向上するよう、事業の推進に努めてまいります。